

The background features a complex, abstract pattern of overlapping green shapes, including circles, squares, and lines, creating a sense of depth and movement. The colors range from light mint green to a darker forest green.

IE・VE・コストダウン

改善力を格段に向上させる「ムダ取り」の実践と「流れづくり」の設計法

現場では日々多種多様な問題が発生します。現場のモノづくりのレベルを継続して向上するためには、実践的な改善のスキルが必要です。当セミナーでは、IE手法を活用して、“モノ”と“人”の動きに着眼することで、様々な“ムダ”を発見し、その排除の方法からさらにモノの流れの設計法を、グループ演習を通じて体験学習していただきます。

日々効果的に現場の改善を進められずお悩みの方におすすめてです。

特徴

- 改善に必要な実践力を養成します。
- 改善手法をすでに習得し、さらに実践ノウハウを求める方々にスピーディな改善の実践方法とその成果を体験していただきます。
- 全体最適を目指す改善方法や着眼点が、ビデオ分析を用いた体験型演習により身につきます。

対象

職場リーダー、実務スタッフ、管理・監督者、FIEコース・現場力向上セミナー既受講者で実践面で困りの方、効果的に改善を進めたい方

会場

大阪・日科技連 大阪事務所

講師

香川博昭(香川改善オフィス)

参加費

48,600円(一般) / 41,040円(会員)

カリキュラム～2日間コース

9:30～17:00

	午前	午後
第1日 9:30～17:30	導入：改善の基本(5Sの実践法) 講義1：IE概論 演習1-1：ライン全体をつかむ(WS)	演習1-1の続き 演習1-2：個々の作業を分析する(作業分析) 事例研究：改善の実践事例
第2日 9:15～17:00	1日目の振り返り 講義2：ムダ取りの実践方法 演習2：ムダ取りの実践	講義3：流れづくりの設計法 演習3：流れづくりの実践 まとめ

回数	日程
1	2月20日(火)～21日(水)

VEによるコストダウン実践コース

(FVE)

TQM

目的追求型で抜本的な改善を実現！

原因追求型で改善を行うのがQCやIE、これに対してVE(バリュー・エンジニアリング)は目的追求型で改善を行うツールの1つと言われています。対象となる製品・サービスの価値(バリュー)を上げようとする時、その製品(サービス)の「機能」と「コスト」に着目し、最適なコストで、必要な機能を確実に達成させる施策を生み出す創造的な方法です。

当コースでは、VEの基本手順「機能定義」「機能評価」「代替案作成」を着実に実施できるよう、実践テクニックを習得でき、コスト改善力が飛躍的にアップします。

特徴

- 演習によるVEの体験を通して実践的に学ぶことで、短期間でその解決能力を高めます。
- 実際に企業でVEを担当、指導した経験豊富な講師が、展開事例・改善事例をふんだんに盛り込んで講義を行います。
- 希望者は「アイデア発想講座」のオプション研修に参加できます(参加費別途)。アイデア発想を学ぶことで、活用の幅が広がります。

対象

職場第一線で活躍する職場長、QCサークルなどの小集団改善活動のリーダー・メンバー、VEをこれから学びたい方

会場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講師

丹澤一昭(株)RKコンサルティング

参加費

48,330円(一般) / 40,770円(会員)
【オプション研修】*希望者のみ
22,680円(一般) / 17,280円(会員)

カリキュラム～2日間コース

	午前	午後
第1日 9:30～17:30	VEの概要 VEの実施手順(情報収集、機能の定義)	VEの実施手順(機能の整理、機能別コスト分析、機能の評価、対象分野の選定)
第2日 9:30～16:30	VEの実施手順(アイデア発想、機能評価、具体化)	VEの実施手順(詳細評価、提案・発表会)まとめ

回数	日程
1	2月5日(月)～6日(火) オプション2月7日(水)

*2015年度開催までの当コースを受講された方は、オプション研修のみの受講が可能です。詳細はセミナー担当へお問い合わせください。

【TEL: 03-5378-9816】

オプション研修：アイデア発想講座

	午前	午後
第3日 9:30～16:30 *希望者のみ	創造性の基本知識 ブレインストーミング法/ 希望点列挙法	シネクティクス法 / NM法 チェックリスト法 / KJ法 まとめ

コストに関する知識・技術・ノウハウをトータルに習得

当セミナーでは、コストに関する考え方や技法、アプローチ方法を様々な視点から学べます。「コストとロスの違い」「積み上げ型と目標設定型」「目標に向けたコストの創り込み技法」「ベンチマーキングの活用」「購買・製造・全社プロジェクトなどのアプローチ方法(事例)」など、コストマネジメントについて幅広く知識・技術を習得することができます。

特徴

- コストマネジメントに関する考え方や技法を学べます。
- 実践事例を通し、実際の運用ノウハウ・アプローチ法を学べます。
- 「総合質疑」に時間を割き、疑問点の解消・自社での取組みへのアドバイス提供に努めています。

対象

経営・企画・設計・生産・製造管理・品質管理・VE・VA・購買・資財・原価管理に携わっている方

会場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講師

斯界の経験豊富な講師が指導にあたります

参加費

74,520円(一般) / 64,800円(会員)

カリキュラム～3日間コース

	午前	午後
第1日 9:20～16:30	総論 コスト・マネジメントにおける開発段階からの統合アプローチ	コストマネジメントの技術 ～価値工学活用をベースにしたコスト創り込みの視点で～ (事例) 調達機能におけるコストマネジメントの実践
第2日 9:30～17:45	ベンチマーキングの原価管理への活用	(事例) クロスファンクショナルで進めるコストマネジメント活動
第3日 9:30～16:45	製造部門のコストダウンと生産革新 (事例含む)	総合質疑

回数	日程
1	9月4日(月)～6日(水)

高収益への転換のカギ「品質コストマネジメント」

共催：日経BP社

利益を生む仕組みへの変革を実現する

品質コストは、TQCおよびTQMの生成当初からシステムの成否を占う主要なスケールであったものの、日本ではあまり注目されてきませんでした。その背景にはわが国固有の組織風土が考えられますが、日本企業は世界に冠たる品質を実現させた一方で、低収益を余儀なくされてきました。品質コストはこの壁を打ち破り、品質の向上のみならず、品質管理を通じてきちんと利益(Return on Quality)を生み出す仕組みの構築を支援します。当セミナーでは、わが国の組織風土に適した品質コストの活用のあり方を、事例を紹介しつつ、きめ細かく解説します。

特徴

- 品質コストの実態を把握し、効果的に管理することがいかに重要かを、とくに失敗事例を参照しながら学習していきます。
- 内外の先進企業の取り組み事例を紹介し、わかりやすく解説します。
- 品質コストの測定、分析、活用の場面で生じる様々な疑問に答えます。
- 品質コスト、とくに失敗コストを効果的に低減するための手法について解説し、その活用方法を体験的に学習していきます。

対象

・トップマネジメント層
・品質管理・品質保証・生産管理部門の管理者

会場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講師

伊藤嘉博(早稲田大学商学大学院)

参加費

54,000円(一般) / 43,200円(会員, 日経ものづくり購読者)

カリキュラム～1日間コース

午前	午後
・リスクマネジメントツールとしての品質コスト ・品質コストが示唆する「品質管理に優る投資はない」 ・事例から学ぶシステムとしての品質コスト	・失敗コストの低減のための品質コストドライバー分析 ・品質コストマトリックスを活用した品質改善計画の立案(グループ演習)

回数	日程
1	7月3日(月)
2	3月5日(月)

*当セミナーへ参加希望の方は、下記担当部門までお問い合わせください。

【問合せ先】品質経営研修センター 研修運営グループ TQMチーム TEL: 03-5378-1213 E-mail: tqmsemi@juse.or.jp

I E・V E
コストダウン

